

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2001-11002(P2001-11002A)

【公開日】平成13年1月16日(2001.1.16)

【出願番号】特願平11-179878

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 41/03

B 0 1 J 31/04

C 0 7 C 41/26

C 0 7 C 41/42

C 0 7 C 43/11

// C 0 7 B 61/00

【F I】

C 0 7 C 41/03

B 0 1 J 31/04 X

C 0 7 C 41/26

C 0 7 C 41/42

C 0 7 C 43/11

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月12日(2005.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

実施例4

[第1工程]

実施例 1 の第 1 工程で用いたものと同じ 1 L のオートクレーブに、ペンチルグリシジルエーテル 300 g、ラウリン酸 14.8 g、水酸化カリウム 4.15 g、水 133.3 g を仕込み、120で反応させた。反応時間は 10 時間であり、このときのペンチルグリシジルエーテルの転化率は 100% であった。反応終了後、過剰の水を減圧下 80 で完全に除去し、ペンチルグリセリルエーテル含有液 342 g を得た。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

〔第 2 工程〕

この反応液を実施例 1 の第 2 工程で用いたものと同じ Smith 式薄膜蒸発機（伝熱面積 = 0.04 m²）を用いて、180、67 Pa の条件下で蒸留を行い、グリセリルエーテルからなる蒸留留分 281 g 及び脂肪酸カリウム等を含む蒸留残渣 53 g を得た。GC 分析による蒸留留分中のペンチルグリセリルエーテルの含有率は 99% であり、蒸留収率は 82% であった。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

実施例 5

〔第 1 工程〕

実施例 4 と同様にして第 1 工程を行った。反応終了後、過剰の水を減圧下 80 で完全に除去し、ペンチルグリセリルエーテル含有液 343 g を得た。